

第 10 章 文化財

第 1 節 文化財保護体制の充実

1 指定文化財保護体制の充実 (文化財パトロール)

例年、文化財保護体制の充実を図るため、民間の有識者を文化財保護指導委員に委嘱し、パトロール計画に基づいて、定期的に国・県指定重要文化財や重要遺跡の巡視を行い、その現況把握に努めてきた。令和元年度は県内 15 地区 175 件の文化財を巡視した。

2 文化財保護指導者研修会

(1) 趣旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、公益財団法人福島県文化振興財団と県教育委員会の共催により実施した。文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に役立てることを目的とする。

(2) 期日及び場所

令和元年 10 月 17 日(木)～18 日(金)
北塩原村生涯学習センター、柏木城跡(北塩原村)

(3) 内容

- ア 講義内容及び講師
 - (ア) 「柏木城跡の調査と保護―北塩原村の取組み―」
布尾 和史(北塩原村教育委員会)
 - (イ) 「柏木城跡の歴史的経緯」
高橋 明(福島県史学会)
 - (ウ) 「改正文化財保護法と大綱及び地域計画について」
岡部 睦美(福島県教育庁文化財課)
- イ 現地研修
柏木城跡(北塩原村) 見学

3 市町村文化財保護担当者会議

(1) 趣旨

県内市町村の文化財行政担当者が職務を遂行するうえでの必要な知識の習得を図り、また、実務上の疑問点や問題点等について質疑・意見交換することによって、より円滑に文化財行政を推進させることを目的として開催した。

(2) 期日及び場所

令和元年 6 月 3 日(月)
福島県庁本庁舎 正庁

(3) 内容

- ア 文化行政の動向
- イ 令和元年度事業について
- ウ 指定文化財の対応について

第 2 節 埋蔵文化財の保護の充実

1 埋蔵文化財保護体制

県の歴史と文化を物語る文化財や県内の遺跡への関心は、県民の中で着実に高まっていることから、県教育委員会は、埋蔵文化財(遺跡)の保存・保護のため調査体制の充実を図ってきた。令和元年度は、他県及び公益財団法人福島県文化振興財団から 4 名の派遣を受けて、東日本大震災からの復旧・復興事業の埋蔵文化財調査のため、文化財課の体制を強化した。

他県及び公益財団法人福島県文化振興財団からの派遣

派遣期間	県及び組織名(人数)
H31.4～R2.3	岩手県(1)、新潟県(1)、 公益財団法人福島県文化振興財団(2)

また、県の委託により発掘調査を行っている公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部においては、財団職員 21 名、派遣教員 1 名、財団間出向職員 4 名、計 26 名で調査にあたった。

公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部職員数

年度	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7
人員	26	26	30	40	44	47	47	55	60	60	62	62	62	62
年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
人員	62	62	68	68	76	61	39	40	40	40	41	41	38	32
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1				
人員	26	26	35	40	39	37	32	30	32	26				

(平成 14 年度までは遺跡調査課定数)

2 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、遺跡の所在・範囲・内容等を明らかにする「分布調査」・「試掘・確認調査」の結果により、事業者と遺跡を保護するための「保存協議」を行い、現状保存ができない場合は、発掘調査により「記録保存」し、その成果を調査報告書としてまとめることで対応している。

(1) 分布調査、試掘・確認調査

分布調査、試掘・確認調査は、遺跡を保護するための情報を収集することを目的としている。

令和元年度は、一般国道 349 号 1,100 ㎡、県道いわき上三坂小野線 16,300 ㎡、只見川河川整備 3,500 ㎡、阿武隈川河川整備 31,100 ㎡、計 52,000 ㎡の試掘・確認調査を実施した。

なお、復興事業に係る埋蔵文化財調査については別記した。

(2) 保存協議

昨年度からの継続協議を含め、関係機関と保存協議を実施した。

関係機関：国土交通省、環境省、県土木部、県農林水産部、東北電力等。

(3) 発掘調査

県教育委員会では、開発に伴う発掘調査（記録保存目的の本発掘調査）を公益財団法人福島県文化振興財団に委託し、以下の遺跡について実施した。

- ・会津縦貫南道路：栗林遺跡（下郷町）3,950 m²
- ・県道広野小高線（浪江工区）整備事業：鹿屋敷遺跡、赤坂D遺跡（浪江町）計 3,780 m²
- ・国道 114 号（山木屋 1 工区）改良工事：前田遺跡（川俣町）1,500 m²
- ・国道 289 号渡瀬 2 工区道路整備事業：姿平西製鉄遺跡、姿平西 A 遺跡（鮫川村）計 670 m²
- ・河川整備事業只見川筋：小和瀬遺跡（三島町）3,000 m²
- ・中間貯蔵建設予定地：銅谷迫遺跡・後迫 B 遺跡（双葉町）8,100 m²

なお、県内市町村においても開発に伴う発掘調査を各市町村文化財保護担当部局が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制の実情に応じ、適時指導・助言している。

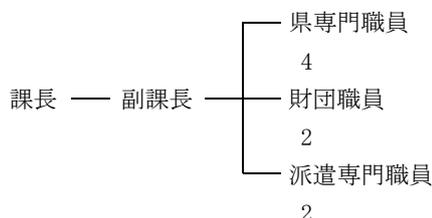
3 令和元年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況

東日本大震災及び原子力災害に係る復旧・復興事業計画区域内において、埋蔵文化財の分布調査、試掘・確認調査を迅速に実施し、復興事業計画に遅れが出ないように対応した。

また、被災市町村の復興事業に対しても、埋蔵文化財調査に係る技術協力を実施し、復興事業の迅速化に寄与してきた。

〈令和元年度〉復興調査体制

（南相馬市駐在）



調査対応した開発事業は以下のとおりである。

(1) 分布調査

農山村地域復興基盤総合整備、中間貯蔵施設等 2,809,151 m²

(2) 試掘・確認調査

農山村地域復興基盤総合整備、海岸防災林造成、中間貯蔵施設等 852,350 m²

(3) 災害復興に係る市町村技術協力

- ア 飯舘村
携帯電話基地局建設に係る試掘・確認調査
- イ 大熊町
特定復興再生拠点に係る分布調査
- ウ 広野町
町道整備に係る試掘・確認調査、発掘調査
- カ 川俣町
国道改良、河川改修、太陽光発電に係る試掘・確認調査
土砂採取に係る発掘調査

4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

(1) 福島県文化財センター白河館文化財研修

公益財団法人福島県文化振興財団が指定管理を行っている福島県文化財センター白河館において、埋蔵文化財の調査を担当する自治体・団体職員などを対象とした研修会を実施し、195名が受講した。

(2) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財担当者専門研修

令和元年度研修を受けた者は、以下のとおり。

研修名称	期 日	受 講 者
出土木器調査課程	9月30日～ 10月4日	公益財団法人福島県文化振興財団 1名
文化財三次元計測課程	11月18日～ 11月22日	公益財団法人福島県文化振興財団 1名

5 埋蔵文化財保護普及活動

令和元年度に刊行した埋蔵文化財調査報告書は以下のとおり。

- ・福島県内遺跡分布調査報告 26
- ・一般国道 349 号関連遺跡発掘調査報告 1
- ・県道吉間田滝根線関連遺跡発掘調査報告 1
- ・県道広野小高線関連遺跡発掘調査報告 2
- ・一般国道 115 号相馬福島道路遺跡発掘調査報告 8
- ・東日本大震災復興関連遺跡調査報告 6
- ・平成 31・令和元年度中間貯蔵土壌貯蔵施設等工事予定地における埋蔵文化財調査業務報告書

6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業

市町村	遺 跡 名	協力内容
湯川村	浜崎城跡・堂後遺跡	試掘・確認調査、 範囲確認調査
矢吹町	鬼穴古墳群	遺物整理・報告書 作成
広野町	東町VI遺跡	発掘調査
会津美里町	高田館跡	発掘調査
南会津町	鶴巣地区・荒海地区	分布調査
小野町	飯豊上地区	分布調査

この事業は、県内の市町村教育委員会が実施する埋蔵文化財発掘調査等について、市町村教育委員会からの要請により県教育委員会が埋蔵文化財の調査等に必要な技術を協力・支援する事業である。

調査等に必要な技術の協力・支援を行う職員は、県教育委員会の依頼により公益財団法人福島県文化振興財団が選任した財団職員で、分布調査、試掘・確認調査、小規模な発掘調査及び出土遺物の整理や報告書作成に関する技術の協力・支援を行う。

令和元年度の技術協力の実績は、前記のとおり。

7 開発事業に伴う試掘・確認・発掘調査件数

(1) 令和元年度 試掘・確認調査件数

(平成31年4月～令和2年3月)

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	道路	2		2	1		5	2	12
2	河川	1	1		1		1		4
3	ダム		2						2
4	住宅	3	9				2		14
5	個人住宅	11	60	1	1		8		81
6	店舗		1		1				2
7	その他建物		12				10	1	23
8	宅地造成	5	9					3	17
9	土地区画整理						1		1
10	公園造成						1	1	2
11	電気・ガス・水道等	1					1		2
12	農業基盤整備事業（農道等を含む）	1	4				13	1	19
13	その他の農業関係事業						2		2
14	土砂採取						6		6
15	その他開発	4	10		2		13		29
合 計		28	108	3	6		63	8	216

(2) 令和元年度 発掘調査件数

(平成31年4月～令和2年3月)

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	道路	5	2	1	2	1	5	1	17
2	河川				1				1
3	学校建設				1		1		2
4	住宅		1		2		1		4
5	個人住宅						1		1
6	その他建物	1							1
7	宅地造成			1	1		2		4
8	土地区画整理							1	1
9	農業基盤整備事業（農道等を含む）	1		2	4				7
10	その他の農業関係事業						1		1
11	土砂採取	1			1				2
12	その他開発	1					3	1	5
合 計		9	3	4	12	1	14	3	46

8 範囲内容確認調査・史跡整備に係る調査・学術調査

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	範囲内容確認調査	4	1	3	4		6	2	20
2	史跡整備に係る調査			1	3	1	1		6
3	学術調査		1		1				2
合 計		4	2	4	8	1	7	2	28

9 令和元年度 試掘・確認調査

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時代	種別	調査原因
1	鹿屋敷遺跡ほか4か所	浪江町大字棚塩字狐塚ほか	福島県教委	5月9日～1月23日	503	弥生・奈良・平安・中世	集落跡ほか	道路
2	鹿島地区遺跡推定地	南相馬市鹿島区大字北海老字鳥バミ	福島県教委	9月10日～9月12日	64	—	—	海岸防災林
3	右田・海老地区遺跡推定地3か所	南相馬市鹿島区北右田字高田ほか	福島県教委	4月11日～5月8日	101	—	—	農地整備
4	植ノ畑遺跡ほか1か所	南相馬市鹿島区上柘窪字川南ほか	福島県教委	8月26日～8月27日	99	縄文	散布地	農地整備
5	鹿島西部地区遺跡推定地	南相馬市鹿島区浮田字羽竜	福島県教委	11月14日	42	—	—	農地整備
6	柚原古墳群	南相馬市鹿島区江垂字柚原、熊野前	福島県教委	11月21日～11月22日	95	古墳	古墳	農地整備
7	明地遺跡	南相馬市小高区女場字明地	福島県教委	8月6日	70	不明	その他(水田跡)	農地整備
8	仏供田遺跡ほか8か所	南相馬市小高区上根沢字仏供田ほか	福島県教委	7月8日～2月10日	1,009	縄文・弥生・平安・中世	散布地・集落跡	農地整備
9	元屋敷遺跡ほか8か所	南相馬市小高区小谷字元屋敷ほか	福島県教委	6月3日～6月25日	838	縄文・古墳・奈良・平安	集落跡	農地整備
10	八重畑遺跡	南相馬市原町区中太田字八重畑	福島県教委	7月2日～7月3日	25	奈良・平安	散布地	農地整備
11	藤橋地区遺跡推定地4か所	浪江町大字藤橋字藤橋	福島県教委	5月13日～5月22日	407	—	—	農地整備
12	上繁岡山根遺跡	檜葉町大字上繁岡字山根、八幡前	福島県教委	10月28日～10月31日	226	縄文・平安・中世・近世	散布地	農地整備
13	稻荷古墳ほか3か所	檜葉町山田岡字一升平ほか	福島県教委	11月25日～2月7日	496	古墳	古墳	農地整備
14	湯口遺跡ほか1か所	葛尾村大字葛尾字湯口ほか	福島県教委	9月24日～9月26日	145	近世	製鉄跡	農地整備
15	下木戸遺跡ほか1か所	田村市船引町北移字下木戸ほか	福島県教委	7月5日～2月19日	159	縄文・平安	散布地	農地整備
19	久保谷地A遺跡ほか17か所	双葉町大字郡山字久保谷地ほか	福島県教委	4月15日～12月24日	3,223	弥生・奈良・平安・中世	散布地・集落跡	中間貯蔵施設
20	八坂遺跡	大熊町大字熊坂字八坂地内	福島県教委	6月4日	50	縄文・近世・近代	散布地	河川海岸
21	宮平遺跡	矢祭町大字下関河内字宮平	福島県教委	5月27日～28日	46			道路
22	いわき市遺跡推定地4か所	いわき市添野町欠下・古防・砂方	福島県教委	6月17日～21日 11月25日～12月3日	442			道路
23	中丸城跡ほか1か所	金山町大字横田・大字越川	福島県教委	9月7日～13日	85			河川海岸
24	徳定A・B遺跡ほか1か所	郡山市西田町鬼生田字黒田、田村町徳定・御代田	福島県教委	9月2日～11月8日	1,153			河川海岸

10 令和元年度 発掘調査

(1) 県調査

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時代	種別	調査原因
1	栗林遺跡	下郷町大字中妻字和田前、柳ノ下	福島県教委	4月10日～11月29日	3,950	縄文	集落跡	会津縦貫道路
2	鹿屋敷遺跡	浪江町大字棚塩字狐塚	福島県教委	5月28日～10月30日	2,380	縄文・弥生・古墳・奈良	集落跡	県道整備
3	赤坂D遺跡	浪江町大字棚塩字赤坂	福島県教委	10月15日～3月6日	1,400	古墳・奈良	生産遺跡	県道整備
4	前田遺跡	川俣町大字小綱木字前田	福島県教委	4月13日～3月10日	1,500	縄文・奈良・平安	低湿地・集落跡	国道114号改良
5	小和瀬遺跡	三島町大字桧原字小和瀬	福島県教委	4月15日～10月31日	3,000	縄文・弥生	集落跡	河川整備
6	姿平西製鉄遺跡	鮫川村大字渡瀬字青生野	福島県教委	4月8日～7月31日	470	縄文・近世・近代	生産遺跡	国道289号整備
7	姿平西A遺跡	鮫川村大字渡瀬字青生野	福島県教委	6月14～6月26日	200	近世	生産遺跡	国道289号整備
8	銅谷迫遺跡	双葉町大字郡山字銅谷迫	福島県教委	4月15日～12月20日	5,400	弥生・奈良・近世	集落遺跡	中間貯蔵施設
9	後迫B遺跡	双葉町大字郡山字後迫	福島県教委	7月22日～12月25日	2,700	弥生・奈良・平安	集落跡	中間貯蔵施設

第3節 文化財保存助成の充実

1 文化財保存助成事業

国指定文化財の防災設備保守点検等の管理に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額(単位:円)			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
国指定文化財の管理に関する事業	八葉寺	八葉寺阿弥陀堂	建造物	防災保守点検等	800,650	200,000	200,000	400,650
国指定文化財の管理に関する事業	延命寺	延命寺地藏堂	建造物	防災保守点検等	63,000	15,500	15,500	32,000
国指定文化財の管理に関する事業	飯盛正徳	旧正宗寺三匠堂	建造物	防災保守点検等	500,790	125,000	125,000	250,790
国指定文化財の管理に関する事業	横山操	旧滝沢本陣横山家住宅	建造物	防災保守点検等	123,700	30,500	30,500	62,700
国指定文化財の管理に関する事業	勝福寺	勝福寺観音堂	建造物	防災保守点検等	68,580	17,000	17,000	34,580
国指定文化財の管理に関する事業	熊野神社	熊野神社長床	建造物	防災保守点検等	160,780	40,000	40,000	80,780
国指定文化財の管理に関する事業	円満寺	円満寺観音堂	建造物	防災保守点検等	348,200	87,000	87,000	174,200
国指定文化財の管理に関する事業	飯野八幡宮	飯野八幡宮	建造物	防災保守点検等	775,027	193,500	193,500	388,027
国指定文化財の管理に関する事業	福生寺	福生寺観音堂	建造物	防災保守点検	51,580	12,500	12,500	26,580

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
国指定文化財の管理に関する事業	常福院	常福院薬師堂	建造物	防災保守点検	47,225	11,000	12,000	24,225
国指定文化財の管理に関する事業	法用寺	法用寺本堂内厨子及び仏壇	建造物	防災保守点検	40,490	10,000	10,000	20,490
国指定文化財の管理に関する事業	恵隆寺	恵隆寺観音堂	建造物	雪降し、除雪等	0	0	0	0
計	12件				2,980,022	742,000	743,000	1,495,022

2 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）

文化財の修理・防災・整備・調査・管理、埋蔵文化財保存調査等の事業（保存事業）とそれらの文化財を活用した事業（活用事業）を一体的に行った事業（保存活用事業）に必要な経費について、助成を行った。

(1) 国指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
建造物保存修理	専称寺	専称寺本堂	建造物	防災工事	112,192,000	94,761,000	2,500,000	14,931,000
計	1件				112,192,000	94,761,000	2,500,000	14,931,000

(2) 県指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
記念物保存修理	八幡神社	旧梁川亀岡八幡宮並びに別当寺境域	史跡	本殿修復工事	24,293,085	0	8,090,000	16,203,085
建造物保存修理	国見町	旧佐藤家住宅	建造物	屋根修復工事	6,302,620	0	2,100,000	4,202,620
建造物保存修理	南会津町	旧猪股家住宅	建造物	屋根修復工事	10,838,520	0	2,520,000	8,318,520
建造物保存修理	いわき市	旧樋口家住宅	建造物	住宅修復工事	10,502,800	0	2,450,000	8,052,800
記念物保存修理	矢吹町	鬼穴古墳群	史跡	測量調査及び実施設計	1,500,417	0	500,000	1,000,417
計	5件				53,437,442	0	15,660,000	37,777,442

3 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）

台風19号等により被災した国指定文化財の修復等保存事業に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
災害復旧	白河市	白川城跡	史跡	災害復旧工事	129,800,000	90,860,000	19,470,000	19,470,000
災害復旧	白河市	南湖公園	史跡	災害復旧工事	62,300,000	43,610,000	9,345,000	9,345,000
災害復旧	白河市	白河舟田・本沼遺跡群	史跡	災害復旧工事	2,332,736	1,632,000	350,000	350,736

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
災害復旧	いわき市	白水阿弥陀堂境域	史跡	災害復旧工事	8,970,500	6,279,000	1,345,000	1,346,500
災害復旧	相馬野馬追保存会	相馬野馬追	重要無形民俗	災害復旧工事	40,301,000	20,150,000	10,075,000	10,076,000
計	5件				243,704,236	162,531,000	40,585,000	40,588,236

※ 白河市（白川城跡、南湖公園）及び相馬野馬追保存会（相馬野馬追）は、令和2年度に繰越。

第4節 文化財の保護と公開の推進

1 第61回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地区に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、その価値を周知するとともに、無形民俗文化財の保存・伝承、文化財公開による地域振興等に寄与する。

期 日 令和元年 10月26日 リハーサル・実行委員会

10月27日 開会式・民俗芸能公開

場 所 やまぎんホール（山形県山形市）

公開演目 本県出演団体 1団体

「絹谷の獅子舞」絹谷獅子舞保存会（いわき市）

2 文化財保護強調週間の実施

文化財保護の一層の推進を図るために、11月1日から11月7日までの文化財保護強調週間を中心に、チラシを配布し、県民に対し啓発を行った。

3 文化財防火デーの実施

文化財の防火について、所有者・管理者はもとより、県民の理解と協力を高めるため、1月26日の文化財防火デーを中心に、チラシを配布するなど啓発を行った。

また、各市町村においては、消防署等の協力を得て、防火訓練、防火診断、防火査察等を実施した。

第5節 銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品としての価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品としての価値のある刀剣類の登録審査会を次のとおり実施した。

1 登録審査委員

佐藤安弘、阿部榮、溝井辰美、塚本剛之

2 登録審査会の実施状況

期 日	会 場	審査数	失格数	登録数	登録数の内訳	
					刀 剣	銃 砲
5月16日	いわき合同庁舎	19	0	19	19	0
7月18日	郡山市労働福祉会館	49	0	49	48	1
9月2日	会津若松合同庁舎	21	2	19	19	0
11月14日	あづま荘	51	1	50	50	0
2月7日	郡山市労働福祉会館	60	0	60	53	7
計		200	3	197	189	8

※ 再交付に係る審査を除く。

3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況

区 分	銃 砲 等	刀 剣 類
譲 受 け	24	344
相 続	3	73
貸 付	0	0
保管の委託	1	6
計	28	423

第6節 福島県文化財センター白河館の運営状況

1 入館者数

令和元年度の入館者は23,679人であり、前年度の入館者(26,731人)に比べ3,052人減少した。団体利用は、前年度に比べ990名減少した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、564,756人となった。

(令和2年3月31日現在)

月	入館者数(人)	1日平均入館者数(人)
4月	2,355	91
5月	3,135	116
6月	2,250	87
7月	2,418	93
8月	2,755	98
9月	1,939	78
10月	1,405	52
11月	2,332	90
12月	1,270	55
1月	1,070	47
2月	1,835	73
3月	915	35
計	23,679	77

2 入館者の内訳と傾向

地域別利用状況 県内者 79.3% (うち総入館者数に占める白河市の割合 37.9%)

県外者 20.7%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒(高校生以下)が40.2%、団体入館者が28.9%を占める。

3 団体利用者の内訳と傾向

(単位 人) (令和2年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼稚園・保育園	団体数	1		2	1		1				1			6
	入館者数	15		83	35		6				13			152
小学校	団体数	14	7	13	6		5	2	5	4	2	1		59
	入館者数	493	440	601	414		458	152	260	97	92	35		3,042
中学校	団体数	1				1	1			1				4
	入館者数	24				79	49			13				165
高等学校	団体数						1							1
	入館者数						5							5

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援学校	団体数									1				1
	入館者数									28				28
大学	団体数		1		1	2			2					6
	入館者数		105		9	25			31					170
幼小中高PTA (保護者のみ)	団体数								1					1
	入館者数								33					33
幼小中高PTA (保護者と児童生徒)	団体数			7	6		2							15
	入館者数			349	281		110							740
研究会	団体数		1		1		1							3
	入館者数		22		42		42							106
子ども会	団体数				2		1							3
	入館者数				29		64							93
公民館等	団体数	1	3	2	5	1	1	4	2	3	1			23
	入館者数	23	98	61	258	13	11	98	33	33	13			641
福祉施設・ デイケアサービス	団体数	3	1		3	3	2	2	4	1	1			20
	入館者数	68	24		29	87	48	25	33	10	19			343
資料館等	団体数						1		1					2
	入館者数						20		31					51
歴史研究団体	団体数	1	1	1				1	2		1			7
	入館者数	10	15	33				15	40		13			126
県・市町村・ 教委・審議会等	団体数							2	1					3
	入館者数							41	16					57
その他	団体数	1	3	3	4	6	2	6	6	4	1	2		38
	入館者数	10	88	41	88	400	33	94	200	113	7	38		1,112
計	団体数	22	17	28	29	13	18	17	24	14	7	3	0	192
	入館者数	643	792	1,168	1,185	604	846	425	677	294	157	73	0	6,864
総入館者に占める 団体入館者の割合(%)		27.3	25.3	51.9	49.0	21.9	43.6	30.3	29.0	23.2	14.7	4.0	0	29.0

4 情報発信事業の利用者

ホームページアクセス件数 51,759 件

(令和2年3月31日現在)

(文化財データベースのほか、福島県文化財センター白河館のイベント情報等をホームページで紹介している。)

5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品等 56,760 箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理している。
写真掲載・転載の申し込み 30 件、出土品借受の申し込み 13 件、収蔵庫保管品の館内閲覧 21 件であった。

6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、文化財保護指導者、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

区分	研修対象者	研修内容
基礎研修 (2回)	市町村職員 等	市町村が直面する課題や先行実践例の検証などを通して、文化財保護法改定後の文化財保護行政のあり方を議論する。
専門研修 (2回)	市町村職員、 市町村文化 財保護指導 者等	市町村文化財保護行政の実践例を現地で検証したり、デジタル技術を駆使した最新の調査・記録技術を学ぶ。
特別研修 (2回)	市町村職員 等	市町村の要望に応じて館内外において随時実施。

参加者：合計 214 名

令和元年度研修実施状況 (令和2年3月31日現在)

- ・基礎研修 (2回)
 - 「第1回文化財保護行政実務者研修」7月 5日 参加者 16名
 - 「第2回文化財保護行政実務者研修」8月 9日 参加者 22名
- ・専門研修 (2回)
 - 「文化財保護指導者研修会」(開催場所:北塩原村生涯学習センター) 10月17日～18日 参加者のべ148名
 - 「遺構・遺物の簡易なデジタル実測法」 2月 6日 参加者 18名
- ・特別研修 (2回)
 - 「ジオラマ作成研修」 5月24日 参加者 3名
 - 「文化財保管環境研修」 8月29日 参加者 7名

7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室、別棟として体験学習館を設けている。また、野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

(1) いつでもできる体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体で体験学習を希望する場合作対象とするものを用意している。内容は、「勾玉づくり」「管玉づくり」「火おこしに挑戦」のほか、月替わりの期間限定メニューを用意している。

常時体験型体験活動状況 (令和2年3月31日現在)

月	来館者数(人)	体験者数(人)	割合(%)
4月	2,355	2,205	93.6
5月	3,135	3,226	102.9
6月	2,250	1,788	79.5
7月	2,418	2,470	102.1
8月	2,755	1,738	63.1
9月	1,939	1,905	98.2
10月	1,405	811	57.7
11月	2,332	799	34.3
12月	1,270	836	65.8
1月	1,070	823	76.9
2月	1,835	588	32.0
3月	915	1	0.1
計	23,679	17,190	72.6

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

(2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり、からむし織りなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集

し、関連性・継続性のあるメニューを年間で実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

- ・まほろん森の塾
 - 第1回「入塾式・大豆種まき・田植え」 6月17日 参加者7名
 - 第2回「すり鉢づくり・鋳型づくり」 7月 7日 参加者7名
 - 第3回「ガラス玉づくり」 10月 6日 参加者6名
 - 第4回「味噌づくり」 11月10日 参加者6名
 - 第5回「森の塾活動報告会」 12月22日 参加者7名
- ・実技講座
 - 「カラムシコースターづくり①刈り取り・苧ひき」 7月21日 参加者 3名
 - 「カラムシコースターづくり②糸づくり」 7月28日 参加者 3名
 - 「カラムシコースターづくり③アンギン編み」 9月 1日 参加者 3名
 - 「土器づくり初級編①土器づくり」 8月 4日 参加者 4名
 - 「土器づくり初級編②野焼き」 9月29日 参加者 0名
 - 「縄文時代のオカリナづくり」 8月25日 参加者16名
 - 「縄文土器づくり上級編①成形・施文」 1月18日 参加者10名
 - 「縄文土器づくり上級編②施文・赤彩」 1月19日 参加者10名
 - 「縄文土器づくり上級編③ミガキ」 1月21日～23日 参加者13名
 - 「縄文土器づくり上級編④野焼き」 3月 1日 参加者 8名

(3) 体験イベント

- 「ゴールデンウィークまほろん特別体験」 4月27日～5月5日 参加者2,329名
- 「まほろん夏休み特別体験」 8月10日～18日 参加者1,402名
- 「まほろん感謝デー」 11月 3日 参加者 641名
- 「まほろん冬まつり」 2月16日 参加者 520名

(4) 館外体験学習

ア おでかけまほろん

福島県文化財センター白河館の職員が、小中学校等教育機関を対象として職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を教職員と協働で行うプログラム。平成31年度は15校で実施し、参加者数は合計311名であった。

- 第1回 会津若松市立神指小学校 6月 6日 参加者 30名
- 第2回 会津美里町立新鶴小学校 6月 6日 参加者 32名
- 第3回 古殿町立古殿小学校 6月13日 参加者 42名
- 第4回 いわき市立入遠野小学校 6月20日 参加者 21名
- 第5回 郡山市立安子島小学校 6月27日 参加者 14名
- 第6回 伊達市立石田小学校 7月 4日 参加者 9名
- 第7回 福島県立会津支援学校竹田校(会津若松市) 7月11日 参加者 5名
- 第8回 平田村立小平小学校 7月18日 参加者 22名
- 第9回 郡山市立御館小学校 9月 5日 参加者 25名

- 第10回 福島県立猪苗代支援学校（猪苗代町）
9月19日 参加者 13名
- 第11回 二本松市立新殿小学校 11月 7日 参加者 19名
- 第12回 南相馬市立原町第二小学校
11月28日 参加者 36名
- 第13回 田村市立船引南中学校 12月 5日 参加者 26名
- 第14回 会津若松市南公民館 12月 8日 参加者 6名
- 第15回 福島県立西郷支援学校（西郷村）
12月19日 参加者 11名

イ 生涯学習行事への出展

生涯学習施設や地元機関等が主催するに行事に職員が出向き、収蔵資料等を活用したミニ展示や体験学習を行うプログラムを実施。令和元年度は5か所で実施し、2,784名が参加した。

- 第1回 国立磐梯青少年交流の家 6月2日 参加者 192名
- 第2回 夏休みキッズワールド（福島民報社主催）
8月6日～7日 参加者 59名
- 第3回 国立那須甲子青少年自然の家
10月6日 参加者 141名
- 第4回 大玉村文化祭 10月19日 参加者 168名
- 第5回 那須高原ビジターセンター
11月16日～17日 参加者 1,923名

8 講演会・講習会

文化財に親しみ、文化財への理解を深めるために、講演会や講座を開催した。

- ア 館長講演会 5回開催
- 第1回「大正11年、ピラミッド頂上の日章旗—ツタンカーメンのミイラが甦った時代—」 5月25日 聴講者 31名
- 第2回「考古学から心を探るために—先史～古代日本の精神文化—」 7月27日 聴講者 39名
- 第3回「『縄文世界遺産』はいまどうなっているのか?」
9月28日 聴講者 35名
- 第4回「文化財保護法の改定と世界遺産の理念—首里城の火災に思う—」 12月14日 聴講者 35名
- 第5回「考古ニュースを解説する」 2月8日 聴講者 38名

イ 文化財講演会

- 「縄文土器編年と放射性炭素年代測定—縄文時代早・前期を中心に—」 6月22日 聴講者 60名
- 「気候変動と人類の歴史—おだやかな時代はいつまで続くのか—」 8月12日 聴講者 82名
- 「福島県の横穴壁画を解く—渦文の宇宙—」
10月12日 聴講者 22名
- 「縄文土器の文様の描き方」 11月23日 聴講者 55名

ウ 文化財講座

- 「縄文時代・弥生時代の年代」 8月12日 聴講者 72名

エ シンポジウム

- 「鉄の道をたどる」 3月7日～8日 中止

9 常設展事業

常設展示室では、収蔵遺物や復元品を、「見て、触れて、考え、学ぶ」というプロセスを通じて理解しやすい形で展示している。常設展示では、次の各展示コーナーにより構成される。「暮らしのうつりかわり」「みんなの研究ひろば」「しらかわ歴史名場面」「話題の遺跡」については展示替えを積極的に行い、歴史や文化財等に関する新鮮な情報を提供した。

- 暮らしのうつりかわり（昭和～縄文時代の出土品等）
- みんなの研究ひろば（相馬高校郷土部のキセキ展等）
- しらかわ歴史名場面（中通り南部の製鉄遺跡等）
- 話題の遺跡（まほろん収蔵資料の年代測定資料の紹介等）
- 重要文化財公開（国指定法定正尻遺跡出土品）
- プロムナードギャラリー等でのミニ展示及び展示替え
 - ・「まほろんの逸品」（赤柴遺跡出土 葉莢等）
 - ・「新春干支特別展示」（上吉田遺跡出土「子」墨書須恵器等）

10 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

(1) 特集展

- 「子どものための特集展」
4月16日～5月12日 観覧者3,614名

(2) 収蔵資料展

- 「時を測る—縄文・弥生時代の年代—」
6月15日～8月25日 観覧者6,240名

(3) 指定文化財展

- 「渦文—時を超える文様—」
9月28日～12月15日 観覧者4,812名

(4) ふくしま歴史探訪展

- 「ふくしま鉄ものがたり—鉄滓の山から読み解く歴史—」
2月1日～3月29日 観覧者2,723名

(5) 移動展

- 自治体・関係機関等と連携して、移動展を実施した。
- 「はま・なか・あいづ再生史」6月7日～7月3日 福島県立図書館共催（場所：福島県立図書館）観覧者 736名
 - 「大熊の記憶」11月18日～19日 ライフミュージアムネットワーク（福島県立博物館事務局）共催（場所：大熊町役場新庁舎）観覧者 125名
 - 「郷土史を愛する心—山内幹夫コレクション展—」令和2年1月23日～2月3日 檜葉町教育委員会共催（場所：檜葉町コミュニティーセンター）観覧者 200名

11 ボランティア運営事業

(1) 「まほろんボランティア」の活動状況

- 施設・展示の案内
体験学習用器材の整備など
ボランティア連絡会（8回開催）

(2) 登録数

- 個人ボランティア 32名

12 市町村への技術支援の状況

文化財保護に対する個別の技術支援が必要な市町村に対して、専門職員の派遣を実施する。平成31年度は、4市町に対し計11回、延べ23人の職員を派遣した。

- ・ 台風19号にともなう被災文化財保全技術支援
 - 本宮市(5回)
 - 田村市(2回)
 - 伊達市(3回)
- ・ 出土品の劣化防止に関する技術支援
 - 会津坂下町(1回)